

2 「検証改善サイクル」を生かした授業改善

(1) 「検証改善サイクル」の構築

各学校においては、学力向上に向けた様々な取組がなされ、P D C Aサイクルを意識した改善サイクルが確立されています。本年度はさらに、下図のように、全国学力・学習状況調査及び熊本県学力調査結果の活用を、課題改善プランに明確に位置付け、検証改善サイクルをより強固なものにしていただくようお願いしました。

(2) 全国学力・学習状況調査の活用

全国学力・学習状況調査には、次のような目的や意味があるため、後述のような点に留意して実施する必要があります。

1 点数化・序列化して過度の競争を煽るテストではなく、課題を把握することや課題を克服するために、授業の改善・充実につなげることにねらいがある。

調査を行うこと自体よりも、その後どれだけ活用できたかが重要であり、丁寧な分析と課題克服に向けた取組が必要である。

2 当該学年（小6・中3）のためだけでなく、すべての学年の児童生徒、教師のために実施されている。

当該学年（小6・中3）の教員だけでなく、全職員が問題の内容や結果、分析について共通理解し、共通実践につなげることが大切である。

3 A問題で求められているのは、単なる知識・技能等の習得ではなく、実生活に不可欠で、常に活用できることが望ましい事項等である。

A問題に課題があった場合でも、知識・技能の定着のみを行えばいいというわけではない。

4 B問題で求められているのは、難しい問題を解く力（応用力）ではなく、知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力等である。

B問題に課題があった場合でも、「応用力が足りない」というわけではなく、普段の生活場面での活用力に課題がある、ととらえる必要がある。

5 調査により測定できるのは、学力の特定の一部に過ぎないが、基礎的・基盤的な事項が中心となっている。

「特定の学年の1回の調査だから・・・」で済ませず、学校総体としての学力向上の取組の評価に生かしてほしい。

6 学習指導要領の趣旨・目的等の具体化であり、授業づくりのメッセージも込められている。

調査結果分析を、授業改善につなげるとともに、その対策についての評価も行ってほしい。

(3) 実践例【御船町立小坂小学校】

下の図は、小坂小学校の課題改善プランです。小坂小学校では、本年度から学校改革プロジェクトの指定を受け、大きく分けて「授業改革」と「校務改革」に取り組まれています。「授業改革」では、ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりを研究し、すべての子どもが楽しく「分かる・できる」指導方法の工夫改善に努められています。課題改善プランの中にも、学校独自の取組が位置付けられ、4月の全国学力・学習状況調査、12月の県学力調査を柱に、学力向上に向けたPDCA検証改善サイクルがきちんと構築されています。ゆうチャレンジ単元別評価問題や全国学力・学習状況調査過去問題等も活用され、他校の参考となるプランです。



小坂小学校の課題改善プラン

ゆうチャレンジ単元別評価問題等は、上益城教育事務所のホームページにも掲載されていますので活用ください。

上益城教育事務所URL

<http://ws.higo.ed.jp/kamimaws/>

上益城教育事務所



上益城教育事務所HP

3 「『確かな学力』の定着への取組チェックリスト」の活用

(1) 平成26-27年度版チェックリスト(平成27年1月29日付け事務連絡で配付)

平成 26-27 年度版「確かな学力」の定着への取組 チェックリスト【小学校版】	
<p>児童の発達段階に応じて指導していますか？ 学校全体として組織的に取り組んでいますか？</p>	
【授業編】	
「はい」で ✓	
↓	
<input type="checkbox"/>	1 言語活動を適切に位置付け、国語科だけでなく、各教科、道徳等を通じて学校全体として取り組んでいますか？
<input type="checkbox"/>	2 学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くよう指導していますか？
<input type="checkbox"/>	3 学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底していますか？
<input type="checkbox"/>	4 特別支援教育を理解し、授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	5 授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか？
<input type="checkbox"/>	6 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか？
<input type="checkbox"/>	7 学習方法（適切にノートをとるなど）に関する指導をしていますか？
<input type="checkbox"/>	8 総合的な学習の時間で、課題の設定から始まる探究の過程を意識した指導をしていますか？
<input type="checkbox"/>	9 授業において、発表などする際に児童がコンピュータを使う活動を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	10 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	11 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	12 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	13 算数の授業において、習熟の遅いグループに少人数指導を行い、習得できるようにしていますか？
<input type="checkbox"/>	14 全国学力・学習状況調査や県学力調査問題を、授業改善に活用していますか？
<input type="checkbox"/>	15 ネットやインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導していますか？
【授業外編】	
<input type="checkbox"/>	16 補充的な学習の指導を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	17 自らの授業を振り返り、授業改善に努めていますか？
<input type="checkbox"/>	18 家庭学習の課題（宿題）を適切に与えていますか？
<input type="checkbox"/>	19 学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有し、学校全体で教育活動を改善するために活用していますか？
<input type="checkbox"/>	20 1ヵ月に1冊以上本を読むような読書習慣の定着を図っていますか？
【初版チェックリストから改善が図られたおもな項目】	
<input type="checkbox"/>	1 私語をせず、落ち着いた授業を受けるよう指導していますか？
<input type="checkbox"/>	5 放課後を利用した補充的な学習サポートを実施していますか？
<input type="checkbox"/>	8 資料を使って発表ができるよう指導していますか？
<input type="checkbox"/>	11 情報通信技術を活用し、読書学習や課題発見・解決型の指導を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	12 授業において、（普通教室での）インターネットを活用した授業を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	19 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	25 国語の指導として、家庭学習の課題の与え方について、教職員で共通理解を図っていますか？
<input type="checkbox"/>	26 家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出していますか？
<input type="checkbox"/>	27 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか？

平成 26-27 年度「確かな学力」の定着への取組 チェックリスト【中学校版】	
<p>生徒の発達段階に応じて指導していますか？ 学校全体として組織的に取り組んでいますか？</p>	
【授業編】	
「はい」で ✓	
↓	
<input type="checkbox"/>	1 学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えるよう指導していますか？
<input type="checkbox"/>	2 学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くよう指導していますか？
<input type="checkbox"/>	3 授業において、（普通教室での）ICTを活用した授業を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	4 授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか？
<input type="checkbox"/>	5 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか？
<input type="checkbox"/>	6 生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか？
<input type="checkbox"/>	7 生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進めていますか？
<input type="checkbox"/>	8 学習規律（私語をしない、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか？
<input type="checkbox"/>	9 学級やグループで話し合う活動を授業などで行っていますか？
<input type="checkbox"/>	10 ネットやインターネットなどの資料の調べ方が身に付くよう指導していますか？
<input type="checkbox"/>	11 授業において、発表などする際に生徒がコンピュータを使う活動を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	12 国語の指導として、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	13 国語の指導として、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	14 数学の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	15 数学の指導として、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしていますか？
【授業外編】	
<input type="checkbox"/>	16 全国学力・学習状況調査や県学力調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善等を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	17 自らの授業を振り返り、授業改善に努めていますか？
<input type="checkbox"/>	18 家庭学習の課題（宿題）を適切に与えていますか？
<input type="checkbox"/>	19 放課後や長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施していますか？
<input type="checkbox"/>	20 1ヵ月に1冊以上本を読むような読書習慣の定着を図っていますか？
【初版チェックリストから改善が図られたおもな項目】	
<input type="checkbox"/>	12 資料を使って発表ができるよう指導していますか？
<input type="checkbox"/>	17 全国学力・学習状況調査や県学力調査等の結果を、学校全体で教育活動を改善するために活用していますか？
<input type="checkbox"/>	20 特別支援教育を理解し、授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	21 教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校と連携（教師の合同研修、教師間の交流、教育課程の接続など）を行っていますか？
<input type="checkbox"/>	23 数学の指導として、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導していますか？
<input type="checkbox"/>	24 数学の指導として、家庭学習の課題（長期休業の課題除く）について、評価・指導していますか？
<input type="checkbox"/>	25 家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えていますか？
<input type="checkbox"/>	26 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか？

4 『『分かる・楽しい』授業づくり』に向けて

(1) 言語活動の充実

言語活動の充実は、言うまでもなく、目的ではなく手段です。その授業の目標に向けて、ねらいをもって、計画的・系統的に設定されるべきものです。従って、「ペア学習をただ」「班活動をしただけ」では言語活動の充実とは言えません。例に示すとおり、考えを深める場面で、書く場面で、発表の場面で、どの言語活動をどのように設定すればいいのか、明確な意図をもたなくてはなりません。「活動あって、学習なし」とならないように、学習活動の過程における「言語活動の必然性」の「活動のねらい、活動の手順、活動上留意点」を明確にするとともに、「児童生徒がきちんと理解したか」を的確に把握するようにしましょう。そして、児童生徒が互いに向き合って発表し合うような学習場面をつくりましょう。

思考力、判断力、表現力等を育むために

例えばこんな言語活動で授業改善

～考えを深める場面で～

～各授業だけでなく…

ペアで意見を交換する

付箋を使って話し合う

ホワイトボードを使って話し合う

生徒一人一人が自分の考えをもち、相手の考えとの共通点や相違点を意識しながら考えを深めていくような言語活動を充実しましょう。

思考力、判断力、表現力等を育むために

例えばこんな言語活動で授業改善

～書く場面で～

～本書をノートに写すだけでなく…

レポートにまとめる

ICTを活用する

新聞にまとめる

生徒が集めた情報を整理・分析し、論理的にまとめて表現するような言語活動を充実しましょう。

【文部科学省資料から】

思考力、判断力、表現力等を育むために

例えばこんな言語活動で授業改善

～発表の場面で～

～先生が説明するだけでなく…

生徒が説明する

立場を決めて討論する

製作物を使って発表する(ポスターセッション)

生徒が自分でまとめた事柄などについて説明したり、相手の立場や考えをお互いに尊重して話し合ったりするような言語活動を充実しましょう。

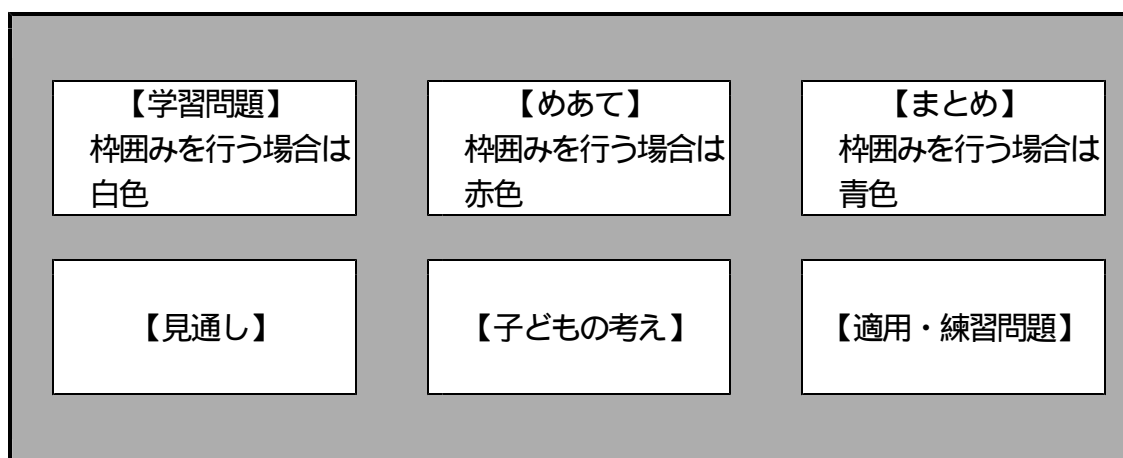
(2) ICTの活用

ICTの活用については、本誌P. 32～34に掲載していますので、そちらをご参照ください。

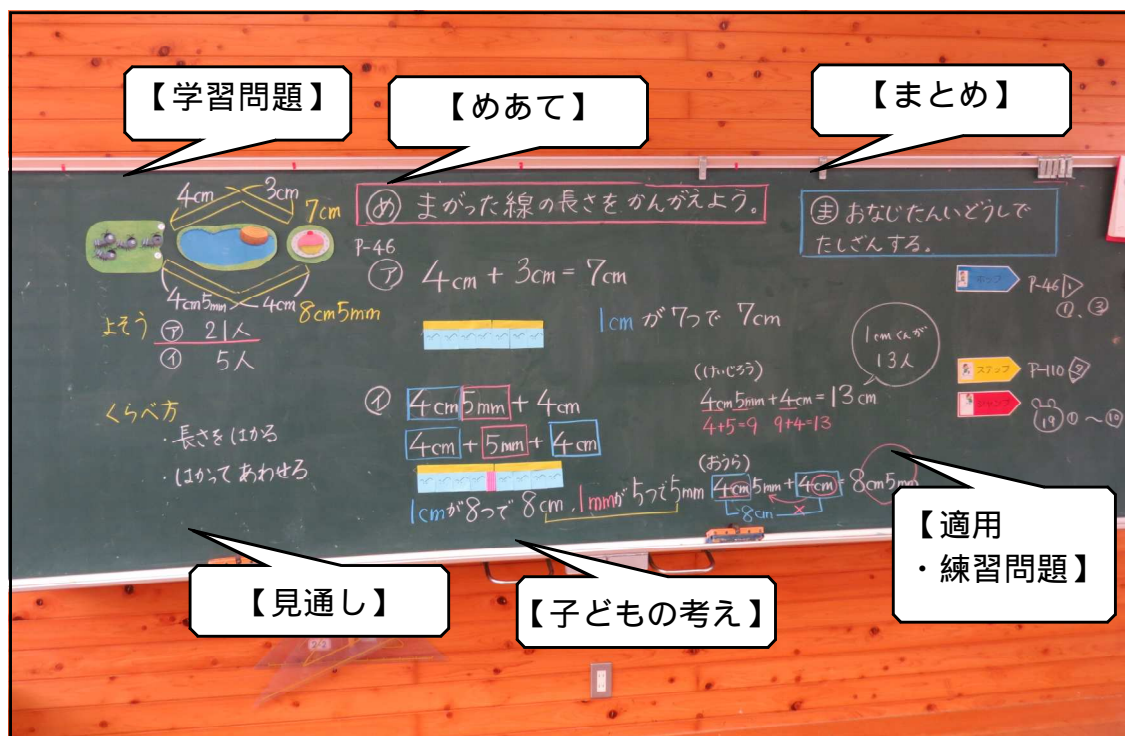
(3) 授業が再現できるノートづくり【益城町立広安小学校】

広安小学校では、板書とノートは、子どもたち自身が学んだことを整理・統合・深化するために大切なツールととらえられ、「学び合いの授業」を研究する上で、以下のように「板書の基本スタイル」を定め、板書とノートを研究の中核に据えて取り組まれています。

【板書の基本スタイル】



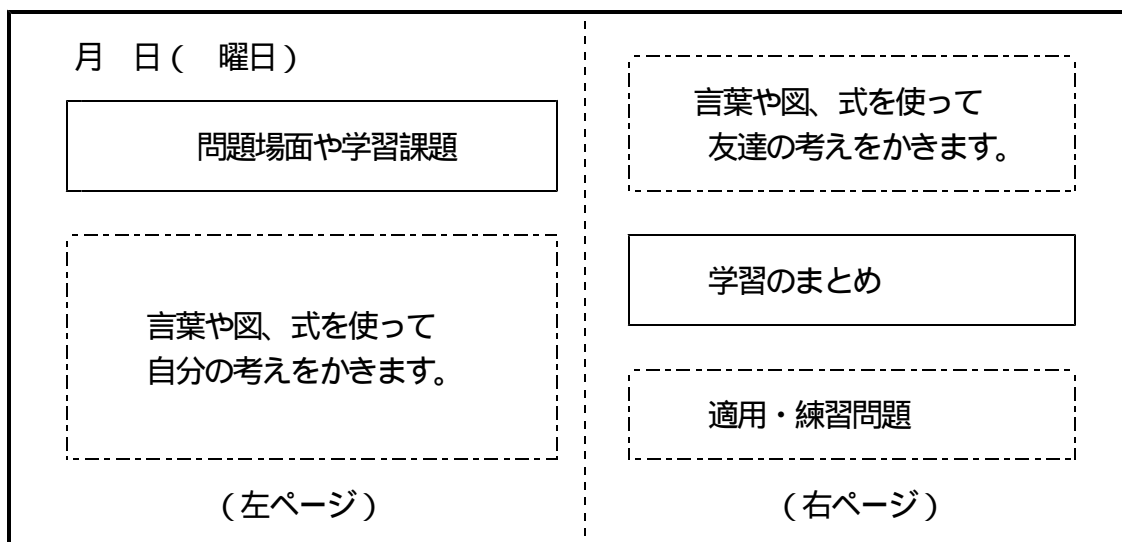
【板書の基本スタイル】



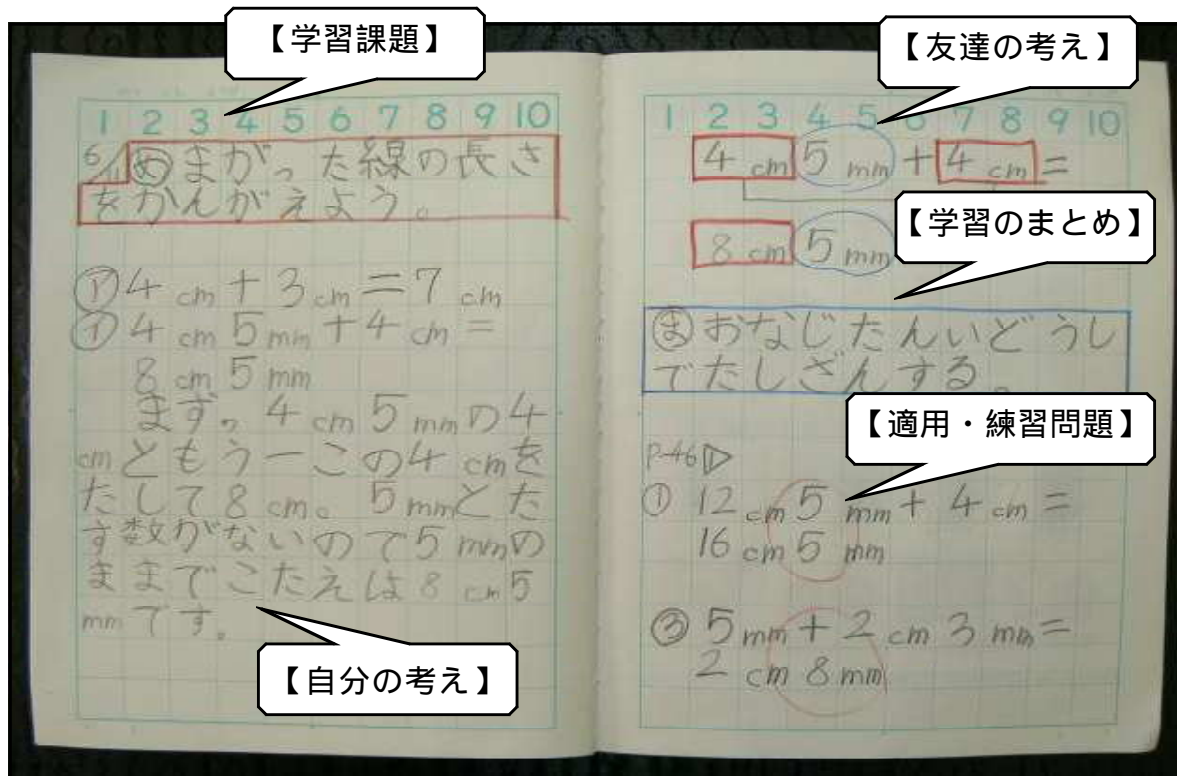
【2年生「まがった線の長さを考えよう」の板書の例】

【ノートの基本スタイル】

子どもたちのノートは、1単位時間の授業で見開き1ページを基本とし、「板書の基本スタイル」が、ノートにそのまま表れるようにしています。広安小学校では、1年生からこの「ノートの基本スタイル」で共通実践しています。こうした指導を積み重ね、子どもたちは互いのノートを見せ合い、自分の考えを話したり、友達の考えを聞いたりしながら「学び合いの授業」に臨んでいます。



【ノートの基本スタイル】



【2年生「まがった線の長さを考えよう」のノートの例】

5 補充的な学習の計画的な実施

(1) 実践例 【益城町立広安西小学校】

広安西小学校では、毎週月・水・金曜日の朝自習を「学力アップタイム」と名付け、昨年度からは校長先生をはじめ担任外の職員も各学級の補助に入り、全職員で学力向上のための個別指導にあたっています。取り組む問題は、県学力調査（ゆうチャレンジ）の過去問題や県教育委員会HPに掲載しているゆうチャレンジの単元別評価問題等（いずれも上益城教育事務所HPからDL可能）を、かしこく部会で印刷し教材室の棚に入れて活用しています。やり終えた問題は児童個人用ファイルにとじて、繰り返し活用できるようにしています。



担任と担任外で指導

「学校総体として補充学習に取り組む」ということに必要な具体的な方策を実践されています。保護者アンケート結果でも、常に85%以上の保護者が、「個に応じた指導を行っている」と高い評価をしています。



プリントを入れた棚



個人ファイル

「学校総体として補充学習に取り組む」ということに必要な具体的な方策を実践されています。保護者アンケート結果でも、常に85%以上の保護者が、「個に応じた指導を行っている」と高い評価をしています。

(2) 実践例 【甲佐町立甲佐中学校】

甲佐中学校では、生徒個人の基礎学力アップを図り、標準学力検査や各学力調査に向けた継続した学習により、生徒集団の教え合う環境作りを進めています。生徒の学力向上への意欲を高めることを目的として、毎学期に1回「基礎テスト（甲佐カップ）」を実施しています。



2学期の「基礎テスト（甲佐カップ）」では、各学年の教科担当・学習図書委員が問題・解答作成を行い、作成した問題一覧・解答は、テスト実施の2週間前に、プリントを配付し提示しました。その後、各学級で家庭学習の計画を決めて取り組んだり、給食待機時に取り組んだりしました。当日の問題は、教科担当が練習問題から抜粋して作成します。

生徒は、目標や学習範囲が明確になることで、より集中して学習に取り組むことができていました。成績優秀だった学級や個人には賞状やトロフィーが渡され、次の学習意欲へとつながっていました。



6 学習習慣の確立

(1) 実践例 【山都町立潤徳小学校】

潤徳小学校では、一人一冊ずつ個人ファイル(ゆめファイル)を持たせ、帰宅してからの計画等を毎日記入させました。特に高学年は、家に帰ってからの生活について計画を立て、実際どのように生活をしたか振り返らせるようにしています。また、「連絡」「宿題」「メモ」の欄を設けて、家に帰ってからの家庭学習をする際に活用できるようにしました。この「ゆめファイル」は、1～2年生用と3～6年生用を作り、項目は「起床時刻」「就寝時刻」「朝食の摂取状況」「歯みがき」「家庭学習中のテレビの視聴」「今日の気分」としています。低学年はテレビ視聴の有無だけではなく、テレビ番組名も記入させ、その日の気分も振り返らせるようにしました。

当初計画を立てることが難しい児童やテレビの視聴が長い児童も目立ちましたが、担任外の職員もできる限り目を通すようにして、コメントを返すようにした結果、生活を少しでも改善しようと努力する児童も現れました。できたことをプラス評価することで、意欲が高まる好循環も生まれています。また、寝る時間を意識して生活する姿や家庭学習で宿題をチェックしながら取り組んでいる姿も見られるようになりました。

「生活時間の見直し」と「家庭学習時間の確保」を一体として取り組むことで成果が表れています。

(2) 実践例 【山都町立矢部中学校】

矢部中学校では、右のような「家庭学習の手引き」を作成され、全生徒に配付しています。各教科毎に具体的に取り組む内容や家庭学習のポイントについてまとめてあり、家庭学習の充実につながるものです。

「家庭学習の手引き」の作成及び活用により、生徒の家庭学習時間の確保、家庭学習内容の充実ができてきており、着実な学力向上につながっているようです。

10月7日 火曜日			連絡・宿題・メモ	印刷
家に帰ってからの生活について				
生活の計画	実際の生活	音読・鞄閉、辞書、プリント1枚		
5時	7時	今日 起きた時刻	6時 15分	
		朝ごはん食べた量の割合		
		歯みがき	朝 15分	
		寝た時刻	夜 7時 25分	
		家庭学習中にテレビ	0	
		今日の一日	最近、寒くて大人からなかなか起き上がれない。お気に入りの本がまだある。	

11月22日 土曜日		テレビを観ましたか	みながき
おきた時刻	9時 25分	見た回数	歯みがき
あさごはん	食べた	テレビ番組名	歯みがき
歯みがき	した	ゲームしましたか	歯みがき
寝た時刻	10時 00分	ゲームの時間	歯みがき
今日一日		昨日は朝早く起きたので、歯みがきを怠らないうえ、歯みがきをした。お風呂も入った。お風呂も入った。	

11月23日 日曜日		テレビを観ましたか	みながき
おきた時刻	9時 25分	見た回数	歯みがき
あさごはん	食べた	テレビ番組名	歯みがき
歯みがき	した	ゲームしましたか	歯みがき
寝た時刻	9時 00分	ゲームの時間	歯みがき
今日一日		昨日は朝早く起きたので、歯みがきを怠らないうえ、歯みがきをした。お風呂も入った。お風呂も入った。	

山都町立矢部中学校

勉強がんばるモン

家庭学習の手引き

国語

- 必ず次の日に学習するところを声に出して読む。詩、短歌、俳句、漢詩、古典等は暗唱する。
- タイトル題名から主題を考えて、読みのめあて(目的)を持つ。話題や場面をとらえる。
- 漢字や語句の意味、比喩や慣用語、表現技法等、チェックしておく。特に、キーワード(重要語句)やキーワード(重要文)は、赤ペンでサインを引く。
- 言語事項・・・慣用語、四字熟語、故事成語、ことわざ等は辞典で意味を調べる。

★ ポイント: 音読、暗唱、語句をたくさん覚えること!!

社会

- ノートで重要語句の意味を確認する。
- ノートに重要語句を5回ずつ書いて、必ずその日のうちに覚える。
- 年号は、「1192-1111」というように丸をつけて覚える。
- ワークで復習し、まちがえたところは、ノートに5回書いて暗記する。

★ ポイント: 重要語句を覚えること!!

数学

- 授業のあった日に、その日のノートを見直し復習をする。
- 宿題を必ずする。
- 計算カード、数学の友で復習する。
- 解き方わからない問題は、教科書の例題やノートを見て調べる。

★ ポイント: 多くの問題にチャレンジすること!!

理科

- 習ったところの教科書を読む。
- 実験・観察をした時は、自学ノードに装置図や手順を書く。特に大事な操作などは色を変えて記入する。
- 黒板に「重要」「今日の自学」のカードが貼られた部分は必ずまとめる。
- 泉版問題を解いて、理解を深める。

★ ポイント: 授業があったその日に必ず復習すること!!

英語

- 授業で習った教科書の本文を5～10回音読する。
- 授業で習った日に、新出語句や Basic Dialog の文字になっている重要文を、声に出して読む。ノートに書く。
- ①と②の学習をした後、ワークをノートに解き、丸つけをする。間違えた問題は、ノートにやり直しをする。
- 授業中に指示された「今日の自学」をする。

★ ポイント: 毎日学習すること。英語は使うことから始める!!

年 組 号 氏名【 】